

第七十六回
帝國議會
貴族院

東亞海運株式會社法案特別委員會會議事速記錄第一號

付託議案

東亞海運株式會社法案(政)

委員氏名

委員長 子爵松平 忠壽君
副委員長 男爵松田 正之君

公爵一條 實孝君
侯爵小村 捷治君
伯爵山本 清君
子爵仙石 久英君
坂西利八郎君
山川 端夫君
大橋 八郎君
男爵井上 清純君
男爵中御門經民君
古島 一雄君
板谷 宮吉君
江口 定條君
橋本辰二郎君
岩田 宙造君
大西虎之介君
大谷 五平君

昭和十六年二月二十日(木曜日)午前十時
十六分開會

○委員長(子爵松平忠壽君) 只今カラ東亞

海運株式會社法案ニ付テノ委員會ヲ開會致シ
マス、最初ニ逕信大臣カラ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(村田省藏君) 本案提出ノ理由

ハ、本會議ニ於テ既ニ御説明申上ゲタ通り
デアリマスガ、尙本案ノ要旨ニ付キマシテ
一應御説明致シタイト存ジマス、政府ハ對
支海運經營ノ擴充強化ヲ圖リマシテ、支那
ニ於キマスル我が航權ノ確立ヲ期スルヲ急

務ト認メ、之ガ暫定的措置ト致シマシテ、
曩ニ東亞海運株式會社ヲ設立セシメタノデ
アリマスガ、同會社ヲシテ克ク外國船舶ニ
拮抗シテ、我が航權ヲ確立シ、對支工作ノ
遂行ヲ助ケ、時局ノ要請ニ對處致シマシテ
其ノ使命ヲ完ウセシメンガ爲ニハ、之ヲ改
組擴大致シマシテ、諸種ノ特權ヲ付與スル
ト共ニ、一層政府ノ監督指導ヲ教化致シマ
シテ、眞ニ國策會社タルノ機能ヲ發揮セシ
ムルコトガ緊要デアルト信ズルノデアリマ
ス、是レ本法ヲ制定セムトスル所以デアリ
マシテ、即チ本法ニ依リマスル會社ハ差當
リ資本金一億圓トシ、將來必要ニ應ジマシ
テ適當ナル政府出資ヲモ爲スコトトシ、又
社債ノ發行、利益配當ノ補給、民間株ニ對
スル優先配當等ノ特權ヲ認ムル等、適當ナ
ル保護助長ヲ加フルト共ニ、一方社長副社
長ハ政府ニ於テ之ヲ任命シ、理事ノ選任、定款
ノ變更其ノ他重要事項ニ付キマシテハ政府
ノ認可ヲ受ケシメ、或ハ必要ナル命令ヲ發
スル等、監督指導ニ意ヲ用ヒマシテ、其ノ
使命ノ遂行ニ遺憾ナカラシムルコトト致シ
テ居ルノデアリマス、尙前ニモ申シマシタ
ル如ク本法ニ依ル會社ハ、現在ノ東亞海運
株式會社ヲ改組擴充シテ之ニ充ツル考デア
リマスノデ、之ニ必要ナル規定ヲ規則中ニ
明示致シタ次第デアリマス、本案ノ要旨ハ
大體以上申述ベマシタ通りデアリマス、何
卒御審議ノ上速カニ可決セラレムコトヲ切
望致ス次第デアリマス

○委員長(子爵松平忠壽君) ソレデハ只今カ

ラ逐條、此ノ法案ノ各條項ニ付テ逐條審議
ヲ最初ニヤリマシテ、ソレカラ其ノ後デー
一般ノ御質問ニ移リタイト思ヒマス、如何
デゴザイマスカ

○橋本辰二郎君 ソレハ結構デゴザイマス、
是非サウ願ヒタイト思ヒマスガ、其ノ前ニ
若シ差支ナケレバ資料ヲ一ツ願ヒタイト思
フノデアリマス、東亞海運會社ノ運賃ノ賃
率表ト云フモノガアリマスナラバ御示ヲ願
ヒタイト思ヒマス、ソレカラ海運事業法ト
云フモノヲ當議會ニ御提出ニナル御豫定デ
アッタト云フヤウニ承ッテ居リマスガ、是ハ
御中止ニナッタトノコトデアリマスガ、其ノ
草案ガアル筈ト思ヒマスカラ、ソレヲ一ツ御
示シ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ此ノ東
亞海運會社ニ對シテハ航路補助ガアル筈ト
思ヒマスカラ、其ノ各航路別ノ補助金ノ表
ヲ一ツ御提出願ヒタイト思ヒマス、以上三
ツヲ請求致シマス

○委員長(子爵松平忠壽君) 承知致シマシ
タ、外ニ參考資料ノ御希望ハゴザイマセス
カ……タイト認メマス、ソレデハ是カラ各
條項ニ付テ政府ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(尾關將玄君) 各條ニ付テ簡單
ニ御説明ヲ申上ゲマス、第一條ハ是ハ此ノ
會社ノ目的ニ付テ規定シタノデゴザイマシ
テ、東亞海運株式會社ハ、支那ヲ中心トシテ、
日本ノ海運業ノ振興發展ヲ圖ルヲ目的トス
ル、斯ウ云フヤウナ規定デアアルノデゴザイ
マス、是ハ本法ノ大目的ヲ謳ッタルノデアリマ
シテ、格別御説明スル迄モナイモノト存ジ

マス、第二條ハ此ノ會社ノ資本金ハ一億圓
ダガ併シ尙將來大ニ發展シナケレバナライ
ノデ、政府ノ認可ヲ受ケテ之ヲ増加スルコ
トガ出來ルト云フ規定ナノデゴザイマス、
第三條ハ、政府ガ東亞海運株式會社ニ對シ
テ出資スルコトガ出來ルト云フ規定ナン
デアリマシテ、政府ハ今直チニハ出資ハ致
シマセヌケレドモ、何レハ出資スルヤウニ
モナルカト存ジマス、尙第三條第二項ハ、
政府ハ金錢以外ノ財産ヲ以テ出資ノ目的ト
スルコトガ出來ルト云フ規定ナノデアリマ
ス、金錢以外ノ出資財産ニ付キマシテハ、
何レ秘密會社申上ゲル機會ガアルト存ジマ
ス、其ノ方ガ宜イカト存ジマスノデ、此處
デ申上ゲルコトヲ省略サセテ戴キマス、ソ
レカラ第三條ノ三項ハ、政府所有ノ株式ノ
株券拂込金ハ、一般ノ株式拂込ト異ニスル
コトガ出來ルト云フ規定ナノデアリマシテ、
是ハ他ノ特殊會社ノ規定ニ一般ニアル所デ
ゴザイマス、政府ガ豫算等ニ依ッテ拂込ガ羈
束セラレルトモアリマスノデ、ソレガ爲
ニ却テ一般ノ拂込ノ徴收ノ機ヲ逸スルヤウ
ナ虞ガアルコトモゴザイマスノデ、之ヲ異
ニス、斯ウ書イテ居ル譯デアリマス、ト
申シマシテモ極端ニ拂込金ヲ免除スルト云
フヤウナ考デハ勿論ナイノデアリマス、ソ
レカラ第四條ハ、東亞海運株式會社ノ第一
回拂込金、是ハ普通ヨリモズット引下ゲテ、
十分ノ一迄下ゲルコトガ出來ル、其ノ第二
項ニ於キマシテ、第三條ノ第二項ト同ジク、
政府ハ金錢以外ノ財産ヲ以テ其ノ所有スル

株式ノ第二回以後ノ株金拂込ニ充ツルコトガ出來ル、斯ウ云フコトデアルノデアリマス、第三條ノ第二項ト同ジ趣旨デゴザイマス、ソレカラ第五條ハ、是ハ政府ノ現物出資ノ場合ニ於テ、其ノ評價ニ付テ規定シテアルノデゴザイマス、政府ハ現物デ出資スルコトガ出來マスルノデ、ソコデ其ノ評價ガドノ位デアルトカ、ソレカラ幾株ヲ充テルトカト云フヤウナコトニ付テハ、政府ニ取ツテモ會社ニ對シマシテモ非常ニ大キナ關係ガゴザイマスノデ、委員會ヲ設置スル、即チ東亞海運株式會社政府出資財産評價委員會ト云フモノヲ拵ヘテ、其ノ委員會デ斯ウ云フモノヲ議決スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ議ヲ經テ、始メテ決ルノダト云フ規定ガアルノデゴザイマス、サウシテ其ノ委員會ハ、是ハ普通ノ規定ニアルヤウニ勅令ヲ以テ之ヲ定メルト云フノガ、第二項ノ規定デアリマス、第三項ハ現物出資ヤル時ニハ、商法ニ於テハ検査役ノ選任其ノ他特別ノ措置ヲシナケレバナラスト云フコトニ規定サレテ居ルデアリマスガ、此ノ場合ニハサウ云フコトヲシナクトモ宜シイト云フ、商法ノ例外規定デアリマス、第六條ノ第一項ハ、是ハ此ノ會社ノ株主ノ資格ヲ制限シテ規定デゴザイマス、之モ一般ノ特殊會社ニアリマス規定ト同様デアリマシテ、此ノ會社ガ國策會社デアル特質ニ鑑ミマシテ、其ノ經營ノ適正ヲ期スル必要ガアルト同時ニ、祕密ヲ守ル必要ガアリマスノデ、之ニ參與スベキモノハ日本ノ臣民、或ハ日本帝國ノ臣民ガ支配權ヲ有スル團體デナクテハ、原則トシテ其ノ株ハ持テナイト云フコトヲ規定シテ居ルノデアリマス、但シ此ノ會社ノ使命ニ鑑ミ

マシテ日支提携、共存共榮ノ趣旨カラ、支那ノ資本ヲ此ノ會社ニ入レルト云フコトヲ絕對ニ排除スベキデハナイ、場合ニ依ツテハ相當之ヲ考慮シナケレバナラナイト云フノデ、他ノ特殊會社ノ法律ト異ナリマシテ、第二項ニ政府ノ許可ヲ得タル者ハ前項ノ規定ニ拘ラズ、即チ日本帝國臣民デナクテモ、東亞海運株式會社ノ株式ヲ所有スルコトヲ得ト云フ規定ヲ入レタ譯デアリマス、第七條ハ、東亞海運株式會社ト云フ稱號又ハ之ニ類似スル稱號ハ、外ノ會社デハ附ケテハイケナイト云フコトヲ規定シタノデゴザイマス、第二章ハ、是ハ役員ニ關スル規定デゴザイマスガ、第八條ハ、社長副社長ヲ置ク、ソレカラ又理事ヲ置クト云フノデアリマシテ、商法ノ取締役ト云フソレノ例外ヲ規定シテアルノデアリマスガ、是ハ格別申上ゲル迄モナイカト存ジマス第九條ハ、役員ノ職務權限ニ付テ規定シタノデアリマシテ、社長ニ會社ノ代表權ヲ與ヘテ、業務ヲ總理セシムルコトニシタノデアリマス、是ハ會社ノ活動ノ統一ヲ圖リ、又其ノ責任ノ所在ヲ明カニスルト云フ爲デアリマス、其ノ他二項三項ハ、副社長ハ社長ニ代理スルトカ、副社長及理事ハ社長ヲ輔佐シタト書イテアルノデアリマシテ、特別ニ之ヲ申ス迄モナイト思ヒマス、第十條ハ役員ノ選任方法ニ付テ規定シテアルノデゴザイマシテ、之モ一般ノ特殊會社ノ關係ノ法律ニ規定シテアル通りデアリマシテ、社長、副社長ハ政府カラ之ヲ任命スルコトニナツテ居リマス、サウシテ理事ハ株主總會ニ於テ選任シテ、政府ノ認可ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、サウシテ其ノ任期ハ、社長ト副社長ハ五年、理事ハ

四年、ソレカラ其ノ第三項ノ監事ハ三年ト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、第十條ハ、社長副社長及業務ヲ分掌スル取締役ノ兼業ヲ禁止シテ規定デゴザイマス、此ノ會社ハ國策會社トシテヤツテ參リマスノデ、兼業ヲ禁止シテ、サウシテ此ノ會社ノ爲ニ事ヲ盡シテ貫ヒタイト云フ趣旨デ、此ノ規定ヲ入レタ譯デアリマス、ソレカラ第三章ハ業務ニ關シテデアリマスガ、此ノ東亞海運株式會社ハ支那ノ各港、即チ支那内地ノ各港、ソレカラ支那ト日本、ソレカラ支那ト日本以外ノ第三國ノ間ニ於ケル海運業ヲ營ムノダト云フコトヲ第一項ニ謳ッデアリマス、併シ此ノ會社ハ政府ノ命令又ハ其ノ認可ヲ受ケテ、第一項ニ掲ゲタヤウナ海運業ノ外ニ、此ノ會社ノ目的ヲ達スルニ必要ナ附帶事業ヲ營ムコトガ出來ルト云フコトヲ規定シタノデゴザイマス、或ハ倉庫業デアルトカ、碼頭業デアルトカト云フヤウナ附帶業務ヲ營ムコトガ出來ル、サウ云フコトガ規定シテアルノデアリマス、第四章ハ政府ノ監督助成ニ付テ規定シテアルノデゴザイマスガ、本會社ハ國策會社トシテ國家的公共的ノ使命ヲ有シマスガ故ニ、其ノ使命達成ニ過チノナイヤウニスル爲ニ特別ノ監督ヲスルノダト云フコトデ、是等モ一般ノ特殊會社法ニアル通りデアリマス、第十四條ハ東亞海運株式會社ハ社債ヲ募集ヲスルニ付テハ、是亦政府ノ認可ガ要ルト云フ規定デゴザイマス、第十五條ハ定款ノ變更デアルトカ、利益金ノ處分、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受ケナケレバイケナイ、即チ認可ヲ以テ效力發生ノ要件トシテアルノデゴザイマス、第十六條ハ、事業計畫ニ付テ政府ガ監督スルト云フコトヲ規

定シテ居ルノデゴザイマシテ、本會社ノ事業ハ、一定ノ計畫ニ基イテ堅實ニ運營シテ行カケレバナラナイノデ、此ノ條文ヲ入レテ、サウシテ會社ニ事業計畫ヲ定メサシテ、政府ガ之ヲ監督スルヤウニシタノデアリマス、事業計畫ト申シマスノハ、ソレハ航路デアルトカ、使用船舶、配船ノ狀況、造船計畫、投資、融資、收支豫算等ニ關スル計畫ヲ指シテ居ル譯デアリマス、第十七條ハ、政府ハ東亞海運株式會社ニ對シテハ、公益上必要ナ命令又ハ監督上必要ナ命令ヲスルコトガ出來ルト云フ規定ナノデアリマス、此ノ會社ガ國策代行機關トシテノモノデアル限り、是亦斯カル規定ヲ必要トスルノデアルト存ジテ居ル次第デゴザイマス、第十八條ハ此ノ會社ノ業務ノ狀況ニ關シマシテ、検査又ハ報告ヲサスコトガ出來ルト云フ規定ナンデアリマシテ、政府ハ何時デモ當該官吏ヲシテ、東亞海運株式會社ノ金庫帳簿等ノ検査ヲサスコトガ出來ルト云フ規定ナノデゴザイマス、尙第二項ニ於キマシテハ、必要ガアルト政府ガ認メタ時ニハ、何時デモ東亞海運株式會社ニ於テ、業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告サスト云フコトヲ謳ッデアルノデゴザイマス、第十九條ハ、政府ノ決議取消權及役員解任權ニ付テ規定シテ居ルノデゴザイマス、即チ違法又ハ不當ナル決議ヲ取消シ、又ハ斯様な場合役員ヲ解任スルコトガ出來ルト云フコトヲ規定シテ居ルノデアリマシテ、是亦一般ノ會社、特殊會社ニ關スル法令ニ書イテアル通りデアリマス、第二十條ハ、政府ハ其ノ指定スル定期航路ヲ經營セシムル爲ニ、東亞海運株式會社ニ對シテ、豫算ノ範圍内デ補助金ヲ與ヘルノダト云フコトヲ規

定デアリマシテ、現在ニ於テモ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ與ヘテ居リマスガ、茲ニ法律デハツキリト認ツテ、此ノ會社ニハ定期航路ニ對シテハ補助金ヲ支給スルノデアルト云フコトヲ、ハツキリト茲ニ認ツタ譯デアリマス、第二十一條ハ、是ハ政府ノ所有スル株ヲ後配株トスルノ規定ナラバデアリマス、是ハ民間株ヲ優遇シテ、資金ノ吸收ヲ容易クサスト云フ趣旨デアリマス、茲ニ「配當シ得ベキ利益金額ガ」トアリマスルノハ、當該營業年度ノ收入カラ諸支出ヲ控除シマシテ、更ニソレカラ法定積立金ヲ控除シタ殘リノモノデアリマス、デ、サウ云フ金額ガ政府以外ノ所有スル株式、即チ言ヒ換ヘレバ民間ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對シテ百分ノ六ニ達スル迄ハ、政府ガ所有スル株式ニ對シテハ、利益金ノ配當ヲシナクテモ宜イノダト云フ規定ナラバデアリマス、ソレカラ第二十二條ハ、是ハ配當補給、ソレカラ配當準備積立金ニ關スル規定ナラバデアリマス、是ハ民間ノ所有スル株式ノ其ノ拂込ミタル金額ニ對シマシテ、百分ノ六ニ其ノ利益ガ達セナイ時ハ、政府ハ初營業年度及爾後引續イテ五年間ヲ限ツテ之ニ達スル、即チ百分ノ六ニ達スル迄ノ金額ヲ補給スルト云フ規定ナラバデアリマス、但シ第二項ハ其ノ營業年度ニ於キマシテ配當シ得ベキ利益金額ガ、政府以外ノモノノ所有スル株式ノ拂込ミタル金額ニ對シテ百分ノ六ヲ超過スルヤウナ場合ハ、先ヅ之ヲ政府ニ返スノダ、前ニ補給シテ貰ツタモノヲ返スノダト云フ規定ナラバデアリマス、其ノ次ハ、此ノ會社ノ配當スベキ利益金額ガ、拂込ミタル金額ニ對シマシテ百分ノ六ノ割合ヲ超過スル時ハ、其ノ超過額カラ今申上ゲマシタ

償還金額ヲ控除シタ其ノ殘リノ金額ノ中、半分ハ配當準備ニ積ミ立テ置クノダト云フ規定デゴザイマス、其ノ次ハ、サウ云フヤウニ積立テタ金額ハ、是ハ補給金ノ計算ニ付テハ配當スベキ金額ト見做スノダト云フ規定デゴザイマス、第二十三條ハ、政府以外ノ株主ニ年六分ヲ超エテ、即チ民間ノ所有シテ居ルモノニ對シマシテ、年六分ヲ超エテ配當ヲシヨウトスル場合ニ於ケル、政府トソレカラ民間トノ株主ノ配當割合ヲ規定シタノデゴザイマス、之モ一般ノ他ノ特殊會社法ニ關シテモアル規定デゴザイマス、サウ云フヤウニ規定ナラバデアリマス、分リニクニ此ノ六分ヲ超エテ配當シヨウトスル場合ニ於キマシテハ、前申シマシタヤウニ政府ハ六分迄ハ配當ヲ受ケテ居ラナイ關係上、六分ヲ超エテ配當スル場合ニ、ドウ云フ風ニシタラ宜イカト云フ規定ナラバデアリマシテ、六分ヲ超エテ配當スル時ニハ、政府ニ五、民間ノ人ニハ一ト云フ割合デ配當スルノダ、之ヲ具體的ニ假ニ申シマス、六分ヲ超エテ七分配當ヲシタイ、即チ六分ヲ超エル後ノ一分ヲ民間ニ配當シヨウトシマスト、政府ノ方ニハ六分ヲ超エル分ノ一分ノ五倍デスカラ五分ヲ配當スル、ソレカラ七分五厘ヲ假ニ配當シヨウトシマスト、六分ヲ超エタ部分ノ一分五厘ノ五倍デアリマスト、政府モ亦七分五厘ノ配當ヲ受ケル、即チ七分五厘ニ至ル迄一ト五トノ割合デズツト來テ、七分五厘以上カラハ是ハ政府モ民間モ同ジヤウニナル、斯ウ云フコトヲ書イタ規定ナラバデアリマス、一般ドレニモアル規定デゴザイマス、一般ドレニモ申シマスノハ、他ノ特殊會社法ニモ書イテアル

規定ナラバデアリマス、第二十四條ハ商法ノ例外規定デアリマシテ、是ハ社債ノ總額ハ拂込ミタル金額ノ三倍ドコロ迄ハ發行スルコトガ出來ル、募集スルコトガ出來ルト云フ規定ナラバデアリマス、第二十五條ハ、東亞海運株式會社ノ社債ノ元本及利息ノ支拂ニ付テ、政府ハ之ヲ保證スルノ規定ナラバデアリマス、第二十六條ハ、本會社ノ社債ニ對スル優先權ニ付テ規定シタノデゴザイマス、第五章ハ罰則デゴザイマシテ、此ノ二十七條乃至二十九條ハ、本條ニ定ムル各規定ノ適用ヲ確保スル爲ニ罰則ヲ規定シタノデゴザイマス、是ハ特別ニ御説明申上ゲル迄モナク此ノ法律、東亞海運株式會社法ト云フモノノ施行期日ヲ規定シテ居ルノデゴザイマス、第三十一條以下ハ、只今大臣カラモ御説明申上ゲマシタヤウニ、此ノ法律ニ依ル東亞海運株式會社ト云フノハ、現在存シテ居ル暫定的ノ東亞海運株式會社ノ改組擴大ヲサレルコトヲ考ヘテ居リマスルノデ、其ノ改組擴大スル場合ニドウ云フヤウニナツテ行クカト云フヤウナ、經過規定ニ付テズツト書イテ居ルノデゴザイマス、是ハ大日本航空株式會社ニモ斯ウ云フ規定ガアツタト存ジマスガ、其ノ間ノ手續ノヤウナ規定デゴザイマシテ、一々御説明申上ゲルノモ却テ煩瑣カト思ヒマスノデ、三十一條以下ハサウ云ウヤウレ經過ノ手續規定デゴザイマスカラ、御説明ヲ省略サシテ戴キマス

○委員長 子爵松平忠憲君、ソレデハ此ノ法案ニ付キマシテ御質問ガアリマシタラ、最初ニ御質問願ヒマス

○山川端夫君、私ハ先ヅ大體ニ付テ數箇ノ點ヲ質疑シタイト思フノデスガ、第一ハ此ノ新設會社ニ吸收セラレルモノハ、現在ノ所謂暫定會社ノ事業、或ハ船カラ言フト、航路ダケニ限ツテ居ルヤウデアリマスガ、ソレ以外ニ關東州、朝鮮ニ屬スル船舶支那トノ航海ヲ爲シテ居ルモノガアル、サウ云フモノモ同時ニ此ノ會社ニ吸收シテ、統一ニ御實行ニナルコトガ一番必要デナイカト、斯ウ思ハレルノデスガ、ソレガ此ノ法律ニ於テハ現レテ居ナイ、一般的ニ申シマスト、是ハ一般問題デスカラ強ヒテ御尋ハ致シマセスガ、日本ノ航海業ハ、内地ト朝鮮、臺灣、各、別箇ノモノニナツテ實行シテ居ルヤウデアリマス、斯ウ云フ一般ノ交通ニ關係アル問題ハ、理想カラ言ヒマス、是ハ日本デ統一シテ總テ其ノ仕事ヲヤラセルト云フコトガ最モ必要デナイカ、船舶業ニ付テモサウデアアルガ、或ハ航空トカ通信トカ、マアサウ云フモノガ幾ラデモアルデアラウト思フ、サウ云フモノヲ關東州或ハ朝鮮ガ、建前ガ違フカラト云ツテ、獨立ニ持タシテ區々ノ仕事ヲヤルト云フコトガ、從來ノ實例カラ見マス可ナリ是ハ弊害ガアリマス、遞信大臣ハ能ク御承知ダラウト思ヒマス、斯ウ云フ狭イ所ニ小サイモノガ分立シテ居ルト云フコトハ宜シクナイト思フドウシテモ統一ニヤラセルト云フコトガ必要ダト思フ、政府モサウ云フコトヲ御考ニナリマスガ、此ノ間企業院カラ何カサウ云フ問題ニ付テノ意見ヲ新聞ニ公表セラレタ所ニ依リマス、ソレハ統一ニヤリタイト云フ御希望モアルヤウデアリマスガ、マダ實行出來ナイヤウデアリマスガ、將來ハ御實行ニナルト思ヒマスガ、此ノ問題ニ直接ハ關係ガアリマセヌケレドモ、一般的ノ

問題トシテ伺ヒタイト思ヒマス、更ニ朝鮮、關東州カラ支那ニ向テ航海スルモノ、是ハ當然此ノ會社ニ吸收シテ行ク方ガ宜イノデヤナイカ、一緒ニヤル方ガ宜イノデヤナイカ、ドウモ近頃ノ政府ノヤリ方ヲ見マス、民間ノモノニハ大イニ統制ヲ御獎勵ニナル、是ハ大變私ハ宜イコトダト思ヒマス、民間ノモノダケハ統制サレケレドモ、政府ノ關係ノモノハドウモ統制ノ中ニ入レズニ、是ダケハ別問題トシテオヤリニナル、斯ウ云フモノハ政府自ラ範ヲ御示ニナルコトガ必要デヤナイカ、今舉ゲタ問題ナドハ特ニサウ云フ感ジヲ深クスルノデアリマス、無論關東州トカ朝鮮ハ法制上ノ建前ガ違ヒマスカラ、一律ニハ行カストハ言ヒマス

ケレドモ、サウ云フ問題ト離レテ便宜上行政處置ヲ執ルト云フコトハ、是ハ政府モ從來ヤツテ居リマス、例ヘバ朝鮮ノ鐵道ヲ必要ニ應ジテ南滿鐵道ニ委託經營ヲヤラセル、サウ云フ例ハ現ニヤツテ居ル、前ニモサウ云フコトヲヤツテ居ルヤウニ思フ、ソレト同ジヤウニ、是ハ法制ヲ異ニスルカラト云ツテ出來ナイコトデヤナイ、政府モ既ニ或ルモノニ付テハヤツテ居ラレル、ソレデ今關東州、朝鮮カラ支那ニ航海シテ居ル船舶ヲ、之ニ一統ニ統制サレナイ理由、及ビ其ノ必要ト云フモノハドウ云フ所ニアルカ、ソレヲ先ツ承リタイト考ヘルノデアリマス

○國務大臣(村田省藏君) 今ノ御質問ニ付キマシテ御答ヘ致シマス、關東州ト朝鮮カラ支那ヲ中心トシテ航路ヲ營ンデ居リマスルモノハ、東亞海運株式會社ニ統合スベキ筈デアル、現ニ東亞海運ガ出來マス時ニ、閣議ニ於キマシテモ此ノ點ヲ諷テアルノデアリマス、單ニ日本支那間ノミナラズ、朝

鮮或ハ關東州カラモ支那トノ間ノ定期航路ハ其ノ方ヘ吸收サセ、統一サセヨウト云フコトニ方針ハ決ツテ居タノデアリマス、引續キ其ノ方針デ關東州ナリ或ハ朝鮮總督府ニ、遞信省トシマシテハ色々懇談ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、遺憾ナガラ色々ノ狀態ノ爲ニ今日迄ソレガ實現サレテ居リマセヌ、併シ遞信省ト致シマシテハ、只今仰セノ通り是ハ統合スル必要ガアルト思ヒマスルノデ、引續キ其ノ方針ヲ以テ此ノ關東州、朝鮮總督府ト打合セテ致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ臺灣ノ方カラ支那ニ向テノ航路ハ、既ニ東亞海運ニ統合サレテ居リマス、更ニ此ノ問題ニ關聯シマシテ、一般的ニ飛行機ナリ、詰リ航空ナリ通信ナリ或ハ船舶ナリ、斯ウ云フヤウナ交通ニ關スルモノハ、特ニ綜合的ニスルコトガ必要デナイカ、是ハモウ御尤モナ御話デアリマス、唯、只今モ御觸レノヤウニ綜合行政ニナツテ居リマスル關係上、今日ノ行政機構デハナカク、是ハムヅカシイデヤナイカト、斯ウ思フノデアリマス、從ツテ若シ此ノ儘デ關東州ナリ或ハ總督府ナリノ機構ガ此ノ儘デ行クナラバ、何カ其處ニ一ツノ方法ヲ考ヘ出サナケレバナラスノデヤナイカ、先程例ニ御引キニナツタヤウニ、朝鮮鐵道ヲ滿鐵ガ經營シタ例モアルノデアリマス、曾テ經營シタノデアリマスケレドモ、今日ハ矢張り或事情ノ爲ニ再ビ朝鮮ノ鐵道ハ朝鮮總督府ガヤルト云フコトニナツタノデアリマシテ、何カ此ノ間ニ一ツノ解決ノ方法ヲ考ヘタイト今實ハ思ツテ居ルノデアリマス、是亦御指摘ノヤウニ民間ニ向テハ統制ヲ強ヒ、而モ政府ノ方デハ單ニ此ノ交通ベカリデハナイ、其ノ他ノモノデモ殆ド政府ノ方デハ

只今迄統制ガ出來テ居リマセヌ、是ハ非常ニ遺憾ト思ヒマスノデ、政府ノ者ノ間ニモ此ノ點ニ對シマシテハ深刻ニ今考ヘテ居ル次第デアリマス、再ビ元ニ還リマシテ、關東州トカ或ハ朝鮮カラノ航路ニ對シマシテハ、極力御指摘ノ方針デ進ミタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○山川端夫君 遞信大臣ノ御意見ヲ伺ヒマシテ、遞信省トシテノ御考ガハッキリ致シマシタ、私ハ大イニ喜ブ者デゴザイマス、唯政府一般ノ考トシテサウ云フ風ニ進ンデ居ルカドウカト云フ點デアリマス、既ニ大臣ノ御指摘ノヤウニ、斯ウ云フ問題ハ閣議デモ決定シテ、サウシテサウ云フ方面ニ努力シテ居ルノデアリマスカドウカ、若シ御答ガ出來マスレバ伺ヒタイ、若シ御答ガ出來ナケレバ、必要ナ當局者ニ出テ其ノ御答ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(村田省藏君) 遞信省ト致シマシテハ引續キ努力致シテ居リマス

○山川端夫君 此ノ場合ハ此ノ問題ハ此ノ程度ニ致シテ置キタイト思ヒマス、次ニ御尋ネ致シタイコトハ、支那ノ内水航路ニ關係スル問題デアリマス、御承知ノ通りニ各國ガ條約上或ハ多年ノ慣行上、内水航路ニ從事シテ宜イコトニナツデ居ル、日本モヤツテ居リマスシ、諸外國モ、主トシテ「イギリス」デアリマスガ、「イギリス」モヤツテ居リマスガ、ソレニ關聯シマシテ實際ノ狀況、今ハ戰時中デアリマスカラ大分變ツテ居ルガ、今ノ狀況ダケデハナク、前カラノ關係ヲ少シ伺ヒタイ、或ハ是ハ場合ニ依ツテハ書キ物デモ宜イイト思ヒマスガ、御伺ヒシタイ、詰リ第三國ノ船舶ガ内水航路ニ如何ニ從來ヤツテ居ツタカ、ソレカラ日本ノ船舶

ノ航路ハドウ云フ點ニドウヤツテ居ルカ、長江方面廣東方面ニ付テノ實情ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ支那ノ招商局ノ汽船ガ、是ハ内水航路、大洋航路ヲヤツテ居ルノデアリマシテ、ソレガ現在ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、是ハ一時「イギリス」カラ金ヲ借りテ、「イギリス」人ノ手デ運用サレルト同ジヤウナ結果ニアツタヤウデアリマス、サウ云フ實際ヲ此處デ直ク御伺ヒ出來マスレバ、現在ノ狀態ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、ソレカラソレニ付テ將來ドウ云フ方針ヲ以テ御實行ニナルト云フ點ヲ、出來レバ伺ヒタイト存ジマス

○國務大臣(村田省藏君) 御承知ノ通り今揚子江關係ハ餘リ公開シテ居リマセヌ、速記ヲ止メテデモ大體御話致シタイト思ヒマスガ……

○委員長(子爵松平忠壽君) 速記ヲ止メテ……

○委員長(子爵松平忠壽君) 速記ヲ始メテ、他ニ御質疑ガアリマシタラ……

○山川端夫君 モウ少シ續イテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、將來支那ノ航路ニ使用サレル船舶モ擴大サレル、詰リ建造サレルト云フコトニナルガラウト思ヒマスガ、之モ公ニシテ良イカ惡イカ分リマセヌガ、日清汽航ガ大分支那事變ニ於テ傷メラレテ居ルノガアル、其ノ補充、ソレカラ又支那ニ於テ航路ヲ擴張スル爲ニハ、アスコハ特殊ノ船ガ必要デアアル、揚子江ハ夏ノ間ニハ水ガ澤山アリマスカラ、當リ前ノ船デモ宜イシデスガ、冬ニナルト、ドウシテモ特殊ノ船舶ガ必要デアアル、上流ニ於テハサウ云フ船舶ガ必要デアアル、サウ云フモノモ將來ノ發

○委員長(子爵松平忠壽君) 速記ヲ止メテ……

○委員長(子爵松平忠壽君) 速記ヲ止メテ……

○委員長(子爵松平忠壽君) 速記ヲ止メテ……

展ヲ見越シテ、大イニ建造計畫ノ中ニ御加ヘニナッテ居ルカドウカ、之ヲ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○國務大臣(村田省藏君) 日清汽船ノ船ガ此ノ戦火ノ結果傷メラレマシテ、使用ニ堪ヘマスル船ガ極ク僅カシカ殘ッテ居ラナカッタノデアリマス、併シナガラ日清汽船ノ使命ヲモ考ヘマシテ、東亞海運ガ出來マスル前、日清汽船ノ時代ニ於キマシテモ、既ニ直チニ只今御話ノ揚子江航行ノ特殊船舶ハ相當註文ヲ致シマシテ、其ノ註文シタ船ガ東亞海運ニ讓渡サレマシテ、内地ニ於テ日清汽船ノ時代ニ沈メラレマシタ船ヨリモ多ク只今申スヤウニ航行致シテ居ルノデアリマス、引續キ東亞海運トシテモ建造ヲ今致シテ居リマス、或ハ揚子江ニ使用シマスル淺吃水ノ特殊船、或ハ沿岸航路ニ使用シマス船、是ハ色々ノ制約ノ下ニ資材其ノ他不自由デアリマスケレドモ、出來ルダケ今急イデ、建造費ノ高價デアルノニモ拘ラズ造ラシテ居ル次第デアリマス

○山川端夫君 モウ一點御伺ヒシタイノハ、現在暫定會社ト言ヒナガラ東亞海運會社ガ活動シテ居ルノデアリマス、之ヲ國策會社ニ爲サネバナラスト云フ眞ノ必要及ビ其ノ理由、其ノ點ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、實ハ支那ニ於テ活動スルノニ國策會社ガ良イカ悪イカト云フコトハ、幾ラカ私モ疑問ヲ持ッテ居リマス、サウ云フ點カラ、是ハ他ノ機會ニ又御尋ネシタイと思ヒマスケレドモ、此處デハ法律ヲ要スル理由及ビ必要ト云フモノニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○國務大臣(村田省藏君) 只今迄ノ日清汽船會社デモ、相當支那ニ於キマスル仕事ハ致シテ居ッタデアリマス、併シナガラ日

清汽船ノ只今迄ノ營業其ノモノデアリマスル場合ニハ、矢張りドウシテモ營利ト云フ點、或ハ採算ト云フ點ニ重キヲ置クノガ當然デアリマス、サウ云フヤウナ傾向ガアルノデアリマス、今回東亞海運ト云フモノヲ作ラセマシテ、之ヲ特殊會社ニ致シマスルノハ、御承知ノ通り支那ニ於キマスル航權ノ擴大強化ト云フ點ニ重キヲ置イテ居ルノデアリマス、從ッテ外國船ニ代ルベキ經營ヲ致シマスニハ、其ノ建造價格ノ如何ニ關セズ、或ハ施設ニ對シテ非常ナ金ヲ掛リマスノニモ拘ラズ、採算ヲ無視シ、營利ヲ度外視シマシテヤラセルト云フ必要ガアルノデアリマス、之ニハ普通ノ營利會社デハ出來ナイノデアリマシテ、此ノ點ハドウシテモ國ガ其ノ會社ヲシテ經營セシムルト云フ點カラ、國策會社ニスルト云フコトガ必要ニナッテ參タノデアリマス、從ッテ或ハ社債ニ於テ之ヲ保證シテヤルトカ、或ハ配當ヲ六分迄補給シテヤルトカ、サウ云フヤウナ便宜ヲ與ヘ、又ハ必要ニ依リマスレバ、政府ガ資本ヲ持ッテヤルト云フヤウナコトヲ必要トスルノデアリマシテ、此ノ法案ヲ提出シタ次第デアリマス

○山川端夫君 コ、デ政府ノ御趣意ハ今ハッキリ致シマシタガ、モウ少シ私ノソックリ了解シ得ナイ點ハ、寧ロ統制ヲシ營利ヲ度外視シテヤルト云フコトガ、支那ニ於ケル航海ニ於テハ極メテ必要ナ點デアラウト思ヒマスケレドモ、之ニハヤル方法トシテハ、或ハ補助金ヲ與ヘルトカ云フヤウナ方法デモ目的ヲ達シ得ルノデハナイカ、ソレダケノコトデアレバ寧ロ補助金ヲ與ヘテヤラセハ、ソレカラ營利ト云フヤウナ問題モ、之ニハ六分ト大體ニ於テ定メテ居リマスガ、此ノ點ガ第六條ノ第二項ト關聯シマシテ、支那人ヲシテソレニ參加セシムルト云フヤウナコトニナリ得ルカドウカ、此ノ點ハ寧ロ他ノ機會ニ御尋ネシタ方ガ宜クナイカト思ヒマスカラ、ソレハ止シマスケレドモ、併シ一面カラ言ヒマス、今御説明ノヤウナ點デアリマスレバ、寧ロ補助金ヲ與ヘルトカ云フヤウナコトデ、從來ノモノヲ大イニ鞭撻シテオヤリニナッテモ、實行ハ出來ハシナイカト云フ風ニモ思ハレルノデアリマス、統制ノ方モ縱シ普通ノ會社デアリマシテモ、今政府ノ御希望通りニ統制ニ服シテ、ソレニ對スル、違ッテ態度ヲ執ッテ行クト云フヤウナ機運ハ殆ドナクナッテ居ルノデアリマス、色々ナ點カラ見マシテ國策會社ト云フ名ヲ出サズニ、寧ロ在來ノ儘御進メニナッテ方ガ、ヨリ能ク此ノ目的ヲ達スルヤウニナリハセヌカト云フ風ニ私ハ考ヘテ居ル、是ハ意見ノ相違ト云ヘバソレ迄デアリマスガ、サウ云フ點ニ付テモウ少シ何カ國策會社ヲ御作りニナルト云フ、特別ノ必要ト云フモノガアルノデヤナイカト思ヒマスガ、御差サナイ限りニ於テ御説明願ヒタイ

○國務大臣(村田省藏君) 御承知ノ通り日清汽船ト云フモノハ、明治四十年以來アシコデヤッテ居リマス、相當政府モ多額ノ補助金ヲ出シマシテ、支那ノ航權擴大ニ日清汽船ヲシテ當ラシメテ居ッタノデアリマス、併シナガラ政治的ノ理由ニ依リマシテ、或ハ排日ガ間歇的ニ起リマスノデ、排日ノナイ間ハ日清汽船ハ相當力強ク根ヲ張ッテ參ッタノデアリマスガ、一度排日ガアル時ハ又營業ガ萎靡シマシテ、折角良クナッタラ又惡クナル、從ッテ時ニハ配當シ又無配ニナル、サウシテ會社ノ狀態ガ、政府カラ多額ノ補助金ヲ出シテ居リマシタニモ拘ラズ、矢張り明治四十年時代ト同ジヤウナ成績デヤッテ居リマス、從ッテ普通ノ營利會社トシテノ信用ノ上カラ云ヒマシテ、假ニ例ヲ擧ゲマスルト、金ヲ借りテ船ヲ造ルト云フ場合ニ、サウ云フ信用上カラ云ヒマシテ、サウ云フ政治的ノ禍ヒヲサレナイ船會社ト比ベマシテ、資金ノ調達其ノ他ガ非常ニ不便ガアル、其ノ點ナンカモ矢張り一ツノ國策會社トシテ、國ガ社債ノ保證ヲスルノダ、元利拂ヒノ保證ヲスルノダト云フヤウナコトニナリマスレバ、今後相當多額ノ資金ヲ要スルト思フノデアリマスガ、之ヲ一々株式資本ニ依ル譯ニモ參リマセヌノデ、社債ニ依ッテヤラナケレバナラヌ場合ニ、資金ノ調達ノ上カラ申シマシテモ、普通日清汽船デヤルト、變形シテ東亞海運ガヤルトハ非常ニ違ヒガアルノデヤナイカト思ヒマス、サウ云フ色々ナ點ガアリマシテ國策會社ニシタノデアリマス、ソレハ御尋ネノ國策會社ニシナイ方ガ餘程宜イト云フ意味モ能ク分リマス、對支關係カラ申シマシテモ此ノ點ハ餘程考慮致シマシテ、甚ダ生溫イノデスケレドモ、其ノ考慮ヲシタ一ツノ現レトシテ、名前ハ國策會社デアリマスケレドモ、總裁ト云フ名前ヲ附ケナイデ、社長、副社長トシタコトデスガ、一ツノ考慮シタ現レデアリマス

○山川端夫君 今ノ點ニ付テモウ少シ御尋ネシタイコトモアリマスガ、是ハ矢張り他ノ機會ニ一緒ニ御尋ネシタ方ガ都合好イト思ヒマスカラ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○委員長(子爵松平忠壽君) 他ニ御質問ゴザイマセヌカ

○橋本辰二郎君 先程秘密會ヲ御開キニナルヤウナ御話ガアリマシタケレドモ、此ノ際秘密會ヲ御開キニナリマセヌカ

○委員長(子爵松平忠壽君) 一應普通ノ御質問ガ大體濟シタ所デ、纏メテ秘密會ヲ開クコトニシテハドウカト思ヒマス

○橋本辰二郎君 私ハ大分アリマシテ、時間ヲ取リマスガ……

○委員長(子爵松平忠壽君) ソレデハ一般ノヲ續ケテ戴キマシテ、秘密會ハ又改メテ開クコトト致シマス

○橋本辰二郎君 私ノ質疑ハ、是非秘密會ヲ開カナケレバナラスト云フヤウナ事項ガアルカモ知レヌノデスガ、ソレデ其ノ都度秘密會デ委員ノ質疑ヲ満足セシムルヤウナ方法ヲ御執リニナツタ方ガ、議事ノ進行上却テ宜クハナイカト私ハ思ヒマスルガ、如何デゴザイマセウカ

○委員長(子爵松平忠壽君) 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(子爵松平忠壽君) 速記ヲ始メテ……

○橋本辰二郎君 其他ノ御方ニ一ツ御質問ヲ此ノ際御願ヒシテ、私ハ後ニナル方ガ宜イヤウニ考ヘマス

○委員長(子爵松平忠壽君) 承知シマシタ、ドウカト御質問ガゴザイマシタラドウゾ……

○公爵一條實孝君 私ハ少シの外レノ質問カモ知レマセヌガ、實ハ先般地下鐵ノ法案ノ委員ヲ承リマシテ、今回此ノ東亞海運株式會社ノ方ノ委員ニナツタノデアリマスガ、偶然此ノ二ツノ法案ノ御精神ヲ聽クト云フト、兩方トモ何カ利益ヲ餘リ認メナイ、利

益ヲ本位トシナイノダト云フコトニ一致シテ居ルノデスガ、何故片方ガ營團ト云フ特殊ノ言葉ヲ使ツテ、此ノ方ニハ營團ト云フ言葉ガ出テ來ナイノカ、矢張り私ハ新シイ言葉デヲカシイト思ヒマスガ……、此ノ方ハ今迄ノ東亞海運株式會社ト云フモノヲ東亞海運株式會社ト云フモノデ包容サレルヤウナ案ノヤウデゴザイマスガ、營團ト云フコトニ付テノ政府ノ一定シタ御見解ガナイノデアリマスガ、鐵道省ノ方デハ營團ト云フ言葉ヲ使フ、逓信省ノ方デハソシナ言葉ハ面白クナイ、斯ウ云フ風ナコトニデモナッテ居リマスガ、此ノ法案トハ直接ノ關係ハアリマセヌガ、私ノ感ジラ伺ッテ見タイノデアリマス

○國務大臣(村田省藏君) 此ノ東亞海運ノ方ハ營團ト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、私ガ利益ヲ云々ト申シマシタノハ、普通ノ會社デアレバ今非常ナ高イ金デ、迎モ算盤ニ合ハヌ價格デ船ヲ造ラナケレバナラナイ、之ヲ抛ッテ置キマシテハ、普通ノ會社デアレバナカノ造リマセヌ、併シナガラソレハ支那ニ於ケル東亞海運ノ使命カラ申シマシテモ、政府トシテハ其ノ儘ニ放任ハ出來ナイノデアリマスノデ、高クテモ設備ラシ、高クテモ船ヲ成ルベク早ク造ラセルト云フ意味ニ於キマシテ、會社トシテハ利益ヲ度外視シテモ造ラナケレバナラスト云フノデ、之ヲ國策會社ニシテ、サウ云フ損失ヲ補償シテヤル意味デ以テ色々ノ保護ヲ與ヘル、斯ウ云フ意味デアリマシテ、之ヲ公益會社デ利益ヲ見ナイデ仕事ヲスル、所謂營團ト申シマスガ、其ノ性質ヲ帶ビタ仕事ノ仕方ヲサセル意味デアリマセヌ、私ノ言モ廻シガ惡イカモ知レマセヌガ……

○公爵一條實孝君 分リマシタノデスガ、其ノ問題ハ別ニ此ノ法案ニ直接ノ關係ハアリマセヌカラ、是デ止メマス、先程山川君ノ御質問中ニモアッテ、又至極御尤モダト思フ事柄ナンデスガ、私ハ折角國策會社トシテ是ガ乘リ出サレルナラバ、先程御話ノ關東州ナリ朝鮮ナリノモノヲ思ヒ切ッテ一緒ニナサレテ、是非一本デオヤリニナル方ガ宜イノデヤナイカ、ソレニ付テハ矢張り私ガ同フカドウカ知レマセヌガ、其ノ方ノ當局ニモ矢張り何故逓信省トノ交渉ガ繼ラナイカト云フコトニ付テ、御意見ガ伺ッテ見タイヤウナ氣ガスルノデアリマス、委員長カラ然レベキ時機ニ、朝鮮總督府其ノ他ノ關係ノ方ニオデマシラ願フヤウニ御願ヒシテ置キマス

○委員長(子爵松平忠壽君) 承知シマシタ

○岩田宙造君 議事ノ進行ニ付テデアリマスルガ、矢張り秘密會ヲ其ノ時々起ッテ御開キ願フ方ガ、議事ノ進行上都合ガ宜クハゴザイマセヌカ、矢張り一回ニ本當ニ纏マレバ大變便利デスケレドモ、サウモ行キサウモアリマセヌカラ、秘密會デ色々ソデ御説明ガアレバ、又ソレニ關聯シテ秘密ヲ要シナイ事項ニ付テモ質問サレルト云フ事項モ出テ來ルカト思ヒマスカラ、ドウゾ面倒デモソレガ秘密會ノ事項ニナツタ時ニハ、其ノ都度御開キニナツタ方ガ進行ガ宜イノデヤナイカト思ヒマス

○委員長(子爵松平忠壽君) 承知シマシタ

○政府委員(尾關將玄君) ソレデハ秘密會ニシテ戴キマシテ、此ノ暫定會社ノ現在ノ狀況及ビ是カラノ擴充計畫、資金計畫等ニ付テ御話ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(子爵松平忠壽君) 皆サンニ御諮

リ致シマスガ、政府ヨリ秘密會トナスノ要求ガアリマシタ、秘密會トナスコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(子爵松平忠壽君) 御異議ナイト認メマス、就キマシテハ議員、國務大臣、議事ニ關係アル政府委員及ビ事務ヲ執ル者以外ノ方ハ退場ヲ願ヒマス

午前十一時二十八分秘密會ニ移ル

午後零時六分秘密會ヲ終ル

○委員長(子爵松平忠壽君) ソレデハ是デ秘密會ヲ閉デマス、午後ハ一時半カラ再開致シマス、暫ク休憩致シマス

午後零時七分休憩

午後一時三十七分開會

○委員長(子爵松平忠壽君) 只今カラ午前ニ引續イテ開會致シマス、御質疑ノアル方ハ御質疑ヲ御願ヒシマス

○山川端夫君 私ハモウ少シ續ケテ御尋ネシタイコトガアリマスガ、秘密會ヲ開クコトハ大分面倒ノヤウデアリマスカラ、此ノ次ノ秘密會ヲ開ク機會ニ、同時ニ御尋ネシタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 現在ノ暫定東亞海運會社ノ業績ニ付キマシテ御伺ヒシタイト思ヒマス、私ハ成ルベク議事ノ進行ヲ計ル爲ニ、簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、從ッテ或ハ敬語等ハ省クカモ知レマセヌガ、ドウカ其ノ邊ハ御容赦ヲ御願ヒ致シマス、近來一般ノ海運會社ハ、其ノ業績タルヤ恰モ順風滿帆ノ有様デアアルニモ拘ラズ、只今ノ東亞海運會社ノ業績ヲ見マスルト、餘リ芳バシクナイヤウデアリマスガ、是ハドウ云フ所ニ基

因スルモノデアリマス、又此ノ暫定會社成立ノ當時ニ、其ノ出資資産ノ評價等ニ付キマシテハ、ドウ云フ方法ヲ御用ヒニナツタノデアリマス、或ハ水脹レ等ノ爲ニ資産ガ膨脹シテ居ルノデハナカラウカト云フ疑モアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ一應御説明ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(村田省藏) 東亞海運ヲ結成シマス時ニハ先程船舶局長カラ申述ベマシタ通り、日清汽船ヲ母胎ト致シマシテ、ソレニ郵船、商船、全部デ十一社ガ航路ヲ出資致シタノデアリマス、其ノ當時出資ノ評價ニ付キマシテハ、今水脹レト云フ御言葉ガアリマシタガ、寧ロ出資ノ場合ニ、少シ苛酷デアリハシナイカト實ハ思ハレタノデアリマスガ、ソレガ殆ド帳簿價格ニ近イモノヲ政府ガ無理ニ出資ヲサセタ、或ハ國策會社デアラカト云フノデ、サウ云フ寧ロ傾向ガアツタノデアリマス、一例ヲ申シマス、船ハ無論郵船會社ノ上海ノ設備ノ如キ、是ハ相當古イ時代ニ買ツタモノデアリマス、今日カラ見ルト非常ニ廉イノデアリマス、今日アレヲ正當ニ評價致シマシタナラバ、相當大キナ額ニナルベキモノヲ買ツタ、前ノ帳簿價格ト云ヒマス、ソレカラ減價償却ヲヤリマシテ、ソレヲ殆ド其ノ値出シタノデアリマス、從ツテ暫定會社ノ東亞海運ハ、船舶及設備等ニ對シマシテハ僅カ七千三百萬圓、ソレモ現金ガ、チヨット私覺エマセスガ、現金ヲ出シマシテ、五千萬圓カ六千萬圓ダツト思ヒマス、船舶及設備ヲ出シテ居リマス、ソレナラ何故外ノ會社ノヤウニ相當餘裕ノアル利益ヲ擧ゲ得ナイカ、斯ウ云フコトニナリマスガ、ソレハ先程モ私チヨット申シマシタ通り、日清汽

船ニ是亦政府ガ命令的ニ造ラセマシテ、相當多數ノ河船ヲ其ノ儘東亞海運ニ讓渡致シマシテ、ソレガ既ニ出來上ツテ居リマシテ、其ノ船價ハ相當高イモノデアリマス、ソレト、無理ニ配船ヲサシテ居ルノト、ソレカラ揚子江ハ只今夜ハ航行致シテ居リマセス、晝間ダケ航行致シテ居リマスカラ、今迄上リニ四日間デアリマシタモノガ八日掛ルト云フ有様デアリマス、ソレカラ先程モ政府委員カラ申上ゲマシタ通り、非常ニ危險ニ暴ラサレテ居リマス、ソレカラ支那ニ於キマスル燃料ノ如キハ非常ニ高イ、斯ウ云フモノガ集リマシテ、東亞海運ノ業績ハ他ノ汽船會社並ミニ行ツテ居リマセス次第デアリマス

○橋本辰二郎君 御説明ニ依リマシテ暫定會社ノ設立ノ當時ニ、其ノ出資者ト云フモノガ國策ニ順應シテ、非常ニ犧牲ヲ拂ツタト云フコトヲ承リマシテ、其ノ株主諸君ニ敬意ヲ表スルノデアリマス、又航路ガ比較的有利デナイ關係上、若シハ國策ニ順應シテ貨率ノ關係其ノ他ニ於テ、業績ガ餘リ芳バシクナイト云フコトモ了承致シマシタノデゴザイマスガ、一般ニ備船料ノ如キモノモ、此ノ支那事變ノ勃發前カラ見マスルト著シク騰貴致シテ居リマス、運賃ノ率ノ如キモノモ非常ニ騰貴致シテ居リマスニ拘ラズ、東亞海運ノ航路ニ當ル運賃ガ、餘リ低過ぎハシナイカト云フヤウナ感ジヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ先程旅客求シタ次第デアリマスガ、聞ク所ニ依レバ、内地カラ支那ニ行ク貨物ノ運賃ニ付キマシテハ、五割ト力増加ヲ御認メニナツテ居リマシタガ、向フカラ來ルモノニ對

シテハ更ニ値上ゲマシテ居ナイ、斯ウ云フヤウニ承ツテ居リマス、果シテサウデアリマスルカ、成程國策會社デアラカラ、國策ニ順應シテ、政府ノ命令ニ從ツテ營業ヲ營ムト云フコトハ當然デアリマスケレドモ、餘リ桁外レノ算盤ヲ持ツテハ此ノ業務ガ成立タナイノデアリマシテ、正當ナル運賃率ニ引上ゲテ會社ノ收入ヲ増加セシメテ、其ノ業績モ他ノ會社ニ比シテ大シテ遜色ノナイ御取扱ニナルノガ相當デハナカラウカト思ヒマスルガ、御考ハ如何デゴザイマセウカ

○國務大臣(村田省藏) 向フカラ來マスルモノハ、日本ノ内地ノ物價政策ノ關係カラ云ヒマシテ運賃ヲ成べく上ゲナイ、コチラカラ參リマスモノモ、多少ハ上ゲサセマスルケレドモ、是亦先程申上ゲタ通り揚子江ノ如キハ普通ノ營業狀態デナクテ、形式的デハアリマスケレドモ、軍ノ徵用船ト云フ關係ニナツテ居リマスノデ、ソレカラ其ノ搭載貨物ノ主ナルモノハ、向フニ於ケル軍隊、或ハ居留民ノ消費ノモノガ主ニ多イノデアリマス、斯ウ云フ點ヲモ考ヘマシテ、今日ニ於テハサウ普通ノ商人ニ對スルモノノ如クニ、運賃政策モ自由ニ行カナイノデハナイカト考ヘナケレバナラヌデヤナイカト云フ點ガ、相當考ヘラレルノデアリマス、又沿岸ノ如キハ、是ハ亦長江其ノ他ト違ヒマスノデ、支那自體ノ貨物ノ往復ノ如キハ、是ハ多少運賃政策ノ上カラ云ツテモ考ヘテ宜イノデヤナイカト思ヒマスガ、要スルニ國策會社トシテ產レテマダ僅カノ間デアリマス、ソレカラ愈々今更ニ又本格的國策會社ニナルノデアリマスシ、同時ニ東亞海運ノ船ノ航行シテ居リマスル大部分ハ、戰地ト看做シテ宜イノデアリマス、是ハ平時

ノ政策ヲ以テ直チニ臨ム譯ニハ行カナイト思ヒマス、戰時狀態ガ終リマスレバ、當然又違ツタ運賃政策ヲ實施シテモ宜イデヤナイカト考ヘマス

○橋本辰二郎君 御考ハ一應御尤モノ點モアルヤウニ私ハ思ヒマス、併シ私共ト致シマシテハ、與フベキモノハ與ヘ、取ルベキモノハ取ルノガ正當ナルヤリ方デハナイカト思フノデアリマス、運賃ノ如キモノモ無理ニ安クシテ、サウシテ此ノ關係者ノ支出スル經費ヲ節約セシムルト云フヤウナコトヨリモ、寧ロ其ノ會社ノ成立チ得ルヤウナ範圍内ニ於テ妥當ナル貨率ヲ定メテ行クト云フコトガ、之ガ本當ナドウモヤリ方デアラウト思フノデアリマス、併シ只今ノ御話ヲ承リマス、色々各種ノ關係ガアツテ、遞信當局ノ思フヤウニハドウモ直チニ實行ガ不可能ダト云フ御話ノヤウニ伺ヒマシテ、其ノ點モ御同情申上ゲルノデアリマスケレドモ、何時迄モ低運賃ニシテ會社ノ收支償ハナイヤウニシマス、今度ノ法案ガ成立致シマシタ上ハ、補給額ガ段々増スコトニナリマシテ、詰リ右カラ取ルカ左カラ出スカト云フ如キコトヲ來シマシテ、其ノ結果甚ダ面白カラヌヤウニ思ヒマス、又會社ソレ自體ニ致シマシテモ、非常ナ安イ運賃デ犧牲ヲ拂ハセラレルト云フヨリモ、相當ナル貨率デ輸送業務ニ從事シテ、サウシテ立派ナ業績ヲ擧ゲルト云フコトガ、社長初メ従業員一般ノ心理狀態ノ上ニモ大變望マシイコトデアルト思フノデアリマスガ、其ノ點ヲ能ク考慮セラレマシテ、出來得ベキダケノ近イ機會ニ於キマシテ、適正ナル運賃率ニ御改メニナルト云フ御考ガアリマセウカ

○國務大臣(村田省藏) 只今ノ運賃ハ、

通信省ト致シマシテハ適正ト考ヘテ居ルノ
デアリマスガ、事態ノ變化ニ處シマシテ運
賃ヲ變ヘルト云フコトニ對シテハ、各デナ
イ積リデ居リマス

○橋本辰二郎君 私マダ大分アリマスガ、山
川サン、一條公爵カラノ御請求ニナリマシ
タ政府委員ガ御出席デアリマセヌカ、ソレ
ナラバ私ハ後ニ致シマシテ宜シウゴザイマ
ス

○委員長(子爵松平忠壽君) ソレデハ朝鮮
ノ關係ノ政府委員ガ見エマシタカラ、其ノ
方ノ御質問ヲ御願ヒ致シマス

○山川端夫君 午前中ニ御問ヒシマシタコ
トヲ極ク簡單ニ申上ゲマシテ、御答ヲ得タ
イト思フノデス、此ノ法案ニ依リマス、
朝鮮、關東州カラ支那ニ向ッテ航海スル船舶
ヲ除外シテアリマス、ソレガドウモ此ノ法
案ヲ作ッテ趣意カラ言ッテモ穩當デナイデハ
ナイカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、是ハマア
屢、色々ナ所デ問題ニナツタコトデアリマスカ
ラ、詳シクハ申上ゲマセヌガ、朝鮮ノ法制
上ノ立場、關東州ノ法制上ノ立場ノ如何ト
云フ、サウ云フ問題ニ觸レズシテ、行政上
ノ措置デ是等ノコトハ適當ニ解決ガ付キ得
ルノデヤナイカ、私ガ一例トシテ舉ゲマシ
タノハ、朝鮮デ鐵道ヲ滿鐵ニ委託シテ經營
ヲセシメタト云フ例モアル、今デモ北ノ方デ
ハヤッテ居ルカト思ヒマスガ、サウ云フヤウ
ナ根本問題ニ觸レズシテ、行政上ノ便宜ト
シテ是ハ實行シ得ルモノデアリ、支那ヲ中
心トスル航海デアリカラ、之ヲ全部統一ス
ルト云フナラバ、朝鮮カラ行クモノ、關東
州カラ行クモノヲ、皆同ジヤウニ統一シテ
行ッテ宜イデハナイカ、デ統一サレナイ理由
ハ、必要ハ何處ニアルカ、斯ウ云フ御尋デ

アリマス

○政府委員(大野綠一郎君) 只今ノ御質疑
ニ御答ヘ致シマスガ、今ノ鐵道ノ委任ノ例
ヲ御採リニナリマシタガ、此ノ問題ト船ノ
問題ト一緒ニ行キマスカドウカ、是ハ多少
考究ノ餘地ガアルト考ヘマス、只今迄ノ朝
鮮總督府ノ考ト致シマシテハ、要スルニ今
迄ノ朝鮮ト支那トノ關係ト云フモノハ、言
ハバ「ローカル」ノ關係デアリ、從ッテ斯ウ云
フ新シイ統一會社ガ出來テ、何カラ何迄此
ノ會社デヤルト云フ、理論上カラ申セバサ
ウ云フコトニモナルノデアリマセウガ、ド
ノ程度迄、朝鮮ノ色々支那トノ關係ガ古來
デアリマスルシ、又取引ノ關係モ極メテ密接
致シテ居リマスルノデ、サウ云フ關係カラ
先ヅ取敢ズ此ノ程度ニ止メテ置ク、併シ統
一シテ東亞海運ト云フモノガヤッテ行ク上
ニ、非常ナ支障ガアルト云フコトデアリマ
スレバ、ソレハ又考ヘテ宜シイノデハナイ
カ、サウ云フコトデ私共ノ方ハ、其ノ見解
ヲ以テマシテ只今ノ程度ニ止メテ置ク譯デ
アリマス

○山川端夫君 一應ノ御考ハ承リマシタ
ガ、地方的ノ航路デアルカラ別ニシテ宜イ
ト云フト、今度ノ法律ノ目標トスル所ヲ見
マシテモ、サウ云フハ幾ラモアル、例ヘバ
臺灣ト支那ト對岸トノ航路ノコト、是ハモ
ウ純然タル「ローカル・ライン」デアルト言
テ宜イ譯デアリマス、是モ矢張り一應此ノ
會社デ統一シアル、ソレカラ斯ウ云フヤウ
ニ支那ヲ中心トスル航路ヲ、特別ノモノハ
除キマシテ、大體統一シテ行クト云フ政策
ヲ政府ガ執ラレルト、ソレニ順應シテヤラ
レタ方ガ宜クハナイカト云フ風ニ思フノデ
アリマス、朝鮮トシテハ色々ノ利害關係ガ
アルカモ知レマセヌガ、私ノ見ル所デハ、意
見ノ違ヒニナリマセウケレドモ、今ノ朝鮮
デヤツテ居ラレルトコトヲ、之ニ一緒ニサレ
ナイト云フ理由ヲ實ハ發見スルコトガ出來
ナイト思フノデアリマス、承ル所ニ依リマ
スト、既ニ前ニ閣議決定ガ、統一スルト云
フコトニ決ッテ居ルト云フコトモ承ッテ居
マスカラ、特別ノ理由ガナケレバ、矢張り
一緒ニシテヤツテ戴クト云フコトニ進メラ
レルコトヲ我々ハ希望スルノデアリマス、
今朝モ申シマシタヤウニ、統制ト云フコト
ガ今政府ガヤッテ居ラレル所ヲ見ルト、民間
ニノミ期待シテ、政府間デハハチヨットモ統制
シナイ、サウ云フ感ジヲ民間ニ持タセルノ
デス、今ノ朝鮮、關東州ノ船ガ其ノ一ツノ適
例ニナツテ居ル、是ハ民間ノ者ヲ導ク所以デ
ナイト私ハ思フ、色々ノ利害關係モアリマ
セウ、理窟モアリマセウケレドモ、斯ウ云
フヤウナ法律ヲ出シテ大イニ發展シテ行ク
ト云フ場合ニハ、サウ云フ小サナ或ハ地方
的ノ問題ヲ超越シテ、大キナ立場カラ御考
慮願ヒタイ、是ガ私ノ趣意デアリマス、ソレ
ニ對シテ尙將來成ルベク早クサウ云フ方ニ
進メラレムコトヲ希望スルノデアリマス、
ソレニ對シテ御答辯ヲ得マスレバ幸デアリ
マス

○政府委員(大野綠一郎君) 畢竟スルニ實
際デチラガ宜イカト云フコトニ歸著スルダ
ラウト思フノデ、纏ッタラ一ツニ纏メナケレ
バナラヌト云フノモ理窟ノヤウニ思ハレル
ノデアリマス、只今委任鐵道ノ例ヲ御引キ
ニナリマシタノデスガ、實ハ滿鐵ニ委任ヲ
致シテ居リマシタ處ガ、必ズシモ其ノ鐵道
ノ運營宜シキヲ得テ居ルトモ考ヘラレナイ、
實ハ半分總督府ニ最近還付ヲ致シタヤウナ
次第デアリマス、從ッテ詰リ朝鮮ガケノ問題
ハ、寧ロ朝鮮ノ關係ニ置イテ宜イ場合ガア
リ得ルノデヤナイカ、併シ御話ノヤウニ全
體一ツデ纏メテヤル上ニ非常ニ支障ガ起ル
ト、斯ウ云フコトデアリマスレバ、具體的
ノ問題ニ付テ更ニ今後協調ヲ致シ、連絡ヲ
致シマシテ、ソレニ適フヤウニ致シマス、
斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○山川端夫君 餘リ此ノ上申上ゲルト議論
ニナリマスガ、併シ私ノ朝鮮鐵道ノ例ヲ引
イタノハ、其ノ通りオヤリニナルト云フノ
デナク、更ニ斯ウ云フヤウナ行政的ノ措置
ヲ執リ得ルノデヤナイカ、ヤルト云フ考ヘ
ナラバ、船舶ハ船舶特有ナ色々ナ措置モ執
リ得ル、朝鮮ノ根本的ノ法制上ノ立場ヲ離
レテヤリ得ルノデヤナイカ、サウ云フ爲ニ
一ツ鐵道ノ例ヲ引イタノデアリマス、鐵道
通りオヤリナサイト云フ、無論サウ云フ趣
意デアリマセヌ、ソレニ此ノ統制シテ利
害何レニアルカト云フ問題ニナリマス、
此ノ法律デ統制シヨウト云フ色々ノ航路ヲ
調ベテ見マス、又色々ノ議論ガ立チ得ル、
此ノ法律ノ趣意ト云フノハサウ云フ小サイ
見方デナク、全般的ニ統制シテ、最モ能ク
運用シテ行カウト云フノガ根本趣意ト私ハ
拜察スル、ソコニ此ノ地方的ノ利害ト云フ
モノ、或ハ之ニ依ッテ工合ノ惡イ點モアルカ
モ知レナイ、委細檢討シマストサウ云フコ
トハアリ得ルト思ヒマス、サウ云フ國家ノ
大目的ヲ達スルト云フ上カラ、是非共之ヲ
ヤラウ、政府ガ徹底サレテ、伺フ所ニ依ル
ト、閣議ヲ通過シテ一緒ニヤルト云フ御決
定モアルサウデス、ソレヲ押切ッテ飽ク迄モ
朝鮮、關東州ガ地方的ニ船ヲ持ッテ居ラネバ

ナラヌト云フ特別ノ理由ガ、ドウモ私ニハ分
ラナイ、ソレデ實ハ御尋ネシタノデアリマ
ス、只今ノ御話ノヤウニ將來更ニ考慮シテ
行ク、又速カニ之ト一緒ニヤルト云フヤウ
ナ御趣意デアレバ是ハナンデスケレドモ、
サウデナク、マダサウ云フコトハ直グ實行
スルノデヤナイ、近イ中ニモサウ云フコト
ハ實行スル考ハナイト云フコトデアリマス
ト、是ハ問題ガ大キナルト思ヒマス、此
ノ點ヲモウ一應、執拗イヤウデアリマスガ
御伺ヒ致シマス

○政府委員(大野綠一郎君) 只今ノ立法ノ
時迄ハ、兎ニ角今ノ程度デ進シテ居ル譯デ
アリマス、今後ノコトニ付キマシテハ十分
打合セヲ致シマシテ、全體ノ統一ノ趣旨ニ
適フヤウニ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

○山川端夫君 關東州ノ政府委員ノ方ハオ
イデニナリマセスカ

○委員長(子爵松平忠壽君) マダナンデス
ガ、ソレデハ外ノ御質疑ガアリマシトラ……

○橋本辰二郎君 只今山川委員ヨリ朝鮮ノ
政府委員ト應答セラレマシタル其ノコトニ
關聯致シマシテ、一ツ遞信大臣ニ御伺ヒ致
シタイト思ヒマス、現ニ朝鮮郵船社ニ大連

汽船ノ航路ノ一部ハ、此ノ東亞海運會社ノ
航路ト並航競合ノ線ニナッテ居ルノガ大分
アルヤウデアリマスガ、チヨット昨日モ御趣
意ノ點モ承ツタヤウデアリマスガ、尙一應出
來ルナラバ朝鮮郵船、大連汽船ノ支那ニ關
スル航路ニ限ッテ、此ノ新タニ出來ル東亞海
運會社ニ統合スルコトガ可ナリト云フ思召
デアリマセウカ、其ノ點モウ一遍確メテ置
キタイト思ヒマス

○國務大臣(村田省藏君) 私ガ申上ゲル迄

モナク、閣議デ既ニ決定シテ居ル事デアリ
マス

○橋本辰二郎君 閣議デ決定シテ居ルコト
ガ實行ガ出來ナイト云フコトハ、又如何ニ
モ私等ハ不思議ニ感ズルノデアリマスガ、
何カ其處ニ事情ガ伏在スルコトト察シマス
ルガ、統合ニ依リマシテノ利益、若シクハ
不便トカ不利トカ云フ點ニ付キマシテハ、
御考ヲ此ノ際承ルコトガ出來レバ仕合セト
思ヒマス

○國務大臣(村田省藏君) 此ノ點ハ遞信省
トシテモ、閣議ノ方針ヲ實行シタイト考ヘ
テ居リマス、併シ朝鮮總督府ナリ又對滿事
務局ノ代表者ガオイデニナルト思ヒマスガ、
我々ノ方ハサウ考ヘテ居リマスケレドモ、
今朝鮮總督府ノ政府委員カラ御聽キノ通り
デアリマス、又後程對滿事務局ノ御方ガオ
イデニナッタルバ、對滿事務局ノ御方カラ
御聽キノナッタル結構デアリマス

○橋本辰二郎君 只今ノ問題ハ、他ノ委員
ノ御質問ニ私ハ讓リタイト思ヒマス、此ノ
會社ハ一應御説明ハ承リマシタガ、支那ト
第三國ト云フコトデアリマシタガ、第三國
トハ其ノ範圍ハドノ邊迄及ブノデアリマス
カ、航路ノ區域ニ付キマシテ……

○國務大臣(村田省藏君) 差當リ支那ト南
洋ト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、第三國
トシマシタルハモウ少シ大キク考ヘテ、將
來ハ或ハ支那ヲ中心ニシマシテ、南米ナリ
或ハ「ヨーロッパ」ナリ、或ハ「アフリカ」方面
ト云フコトニモ航路ヲ開拓シ得ルヤウニ、
廣ク考ヘテ居ル譯デアリマス、併シナガラ
東亞海運ノ使命ト云フモノハ、支那ニ於ケ
ル我ガ航權ヲ擴大強化スルコト云フノデアリ
マスカラ、ソレニ非常ニ重キヲ置キマスル

カラ、ソレガ完全ニ目的ヲ達シ得マセヌ曉
ニハ、徒ニ第三國ニ、遠イ方面ニ手ヲ著ケ
ルコトハドウカト思ヒマス、其ノ點ハ順ヲ
逐ウテ考ヘル積リデアリマス

○橋本辰二郎君 御趣意ノ點ハ分リマシタ
ガ、南洋方面迄此ノ會社ハ統一シタイト云
フ御希望ノヤウニ承リマシタ、サスレバ只
今南洋ニ航路ヲ開キマスル南洋郵船、石原
産業、日産等ノ汽船迄モ此ノ會社ニ將來ハ
統合シタイト云フ御希望デアリマセウカ

○國務大臣(村田省藏君) 南洋海運ト云フ
モノハ内地ト南洋方面、石原産業ハ南洋海
運ニ既ニ今日ハ包含サレテ居リマス、内地
ト南洋方面ハ南洋海運ノミニ依ッテヤッテ居
ル譯デアリマス、併シナガラ支那ト南洋方
面ト云フモノハ、是ハ又別デアリマシテ、
現ニ南洋海運ト、假ニ蘭印ノ例ヲ取リマス
ト、「デヤバ・チャイナ」ト二社デヤッテ居リマ
ス、其ノ間ニ一ツノ契約ガアリマス、支那ノ方
ハナインデアリマス、從ッテ今御承知ノ南洋
方面ト支那トノ華僑ノ往復、又ソレニ伴ッテ
物資ノ往復ナドモ、相當是ハ外國船ニ依ッ
テヤッテ居リマスノデ、此ノ方面ノ航路ヲ開
拓サセタイト思ッテ居リマス

○橋本辰二郎君 近來會社ノ合併トカ、若
シクハ經濟統制ト云フモノガ盛ニ行ハレテ
居リマスガ、此ノ東亞海運モ其ノ現レノ一
端デハナイカト思ヒマスルガ、將來ニ互リ
マシテ日本ノ船舶業、例ヘバ定期船ノミヲ目
的トシテ居ル會社トカ、若シクハ定期船ノ
中ノ或部分ト云フヤウナモノモ、合併若シ
クハ或會社ニ統合セシムルト云フ御意見、
御意思ガアリマセウカ

○國務大臣(村田省藏君) 申上ゲル迄モナ
ク海運ハ海外トノ關係ガ非常ナ密接ナモノ

デアリマシテ、單ニ内地間ノミナラズ、海
外關係ヲモ考慮シテ、航路ノ統制其ノ他ヲ
考ヘナケレバナラスノデアリマシテ、今日
ノヤウナ殆ド混沌タル時代ニハ、マダ的確
ニソレヲ今決メタル方ガ良イノカ惡イノカ、
是ハ餘程研究ヲ要スル問題デハナイカト
思ッテ居リマス、世界ノ情勢ガドウ變化シテ
參リマスカ、殆ド今我々ハ豫想ヲスラモ爲シ
得ナイト云フ、此ノ方面ヲ背景トシテ居リ
マスル海運ノ構成ヲ、編成ヲ考ヘルコトハ、
少シ尙早デハナイカト考ヘテ居リマス、併
シ御尋ノコトニ對シテハ無論考慮ハ致シテ
居リマス

○橋本辰二郎君 御考慮ニナッテイラシヤ
ルト云フ御答デアリマシタガ、近來流行ル
「イニシアテイヴ」トカ、又主義トカ云フ上
ニ於キマシテ、是等ノ會社ハ合併セシムル
方ガ御希望デアリマセウカ、如何デセウカ

○國務大臣(村田省藏君) 是ハ經濟界ノコ
トデアリマスルカラ、私ガ今之ニ對シテハッ
キリ御答ヲスルノハ適當デナイト考ヘテ居
リマス

○橋本辰二郎君 只今答辯ヲスルコトハ其
ノ時期ニ非ズト云フ御見解ノヤウデアリマ
スガ、是モ此ノ責任ノ衝ニ當ラレル御方ト
シテハ御尤モト私ハ思フノデアリマス、併
シ私ハ元來競爭對立ノ位置ニアル航路ハ、
是ハ統合スル方ガ國策上望マシイコトデア
ルト、斯ウ思ヒマスケレドモ、サウデナク
シテ各自ソレノ立場ト、航路ト、特定
貨物ノ運搬ニ從事シテ居ルモノ迄モ合併セ
シムルト云フコトハ、必ズシモ其ノ當ヲ得
タルモノデナイト云フ意見ヲ持ッテ居ルノ
デアリマス、ソレデ大臣ノ御意見モ必ズシ
モ將來ニ於テモ、或航路若シクハ或船舶ノ

合併結合ト云フモノニ對シテ強要シヨウト云フ御意思ノナイカノヤウニ、是ハ私自身デ解釋致シマシテ、果シテサウ云フ思召デアルカドウカハ伺ハレマセスケレドモ、尙此ノ際私ノ意見ヲ、マア質疑ニ因ム意見ヲ此ノ際述べ置キタイト思ヒマス、私等ハ鬼ニ角船舶及ビ其ノ船舶會社ハ、各其ノ自身ニ課セラレタル所ノ使命ヲ持ッテ居リマシテ、何モ彼モ統合シテヤルト云フコトハ必ズシモ適當ナル國策デナイト思フノデアリマス、例ヘバ商賣ニシマシテモ、甲ノ商賣ニ從事スル人ハ、特殊ノ矢張り其ノ甲ノ商業ニ屬スル知識ヲ持ッテ居リマス、同ジヤウニ又海運業ニ從事スル人デモ、或特定ノ貨物ヲ輸送スル人トカ、又或一定ノ航路バカリ守ッテ居ルト云フ人ハ、又矢張りソレゾレ自分ノ特長ヲ發揮スルト云フコトニナリマシテ、非常ニ能率モ上ルト云フコトハ既ニ御承知ノ通りダト思フノデアリマスガ、日本ノ海運ノ發展ノ歴史ヲ繙ネテ見マス、無論國家ノ詰リ恩典ト、時ノ政府ノ獎勵指導ニ依ルコトハ大ナルモノガアルノデアリマスケレドモ、單リ國家ノ恩典ニミ浴シタ所ノ大會社ノ力ニミ依ッテ、今日ノ日本ノ海運ノ發展ヲ來シタモノデナクシテ、之ト同時ニ所謂社外船主ト云フモノガ有ラユル苦心慘憺ナル經營ノ結果、大會社ト俱ニ共ニ相携ヘテ今日ノ此ノ日本海運界ノ大發展ヲ來シタノハ、恰モ紡績業ガ何等政府ノ援助指導ヲ受ケズシテ今日ノ大ヲ來シマシテ、殆ド英國ノ紡績業ヲ凌グヤウナ域ニ達シタト同ジヤウナ傾向ヲ持ッテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、之ニ付キマシテ過日或席デ山下龜三郎君ノ演說ヲ聽キマシテ、私ハ特ニ同感ヲ抱イタノデアリマス

ルガ、ソレデ此ノ統一トカ若シクハ合併トカ云フヤウナコトニ付キマシテモ、矢張り一定ノ限度ガアリマシテ、無制限ニ之ヲ擴大スルト云フコトハ、決シテ其ノ當ヲ得タルモノデナイト思ヒマシテ、今後此ノ東亞海運ノ如キ會社ヲ、マア設立セラル、カドウカ分リマセスケレドモ、差當リ此ノ會社ハ將來非常ナ發展性ヲ持チ、其ノ營業區域モ非常ニ廣クナリ、又造船計畫等モ盛ニ御採リニナルト云フヤウナコトニナラウト思ヒマスケレドモ、餘リ一定ノ限度ヲ越エテ膨脹セシメルト云フコトハ、ドウモ考ヘ物デハナカラウカト思フ、凡ソ人間ノ能力ニ於キマシテ支配爲シ得ベキ限度ト云フモノハ、殆ド決ッテ居ル、餘リ大キイ所ノ會社ト云フモノハ、其ノ結果ガ甚ダ芳バシクナイト云フヤウナ實例ハ、過去ニ於テ我々ハ親シクマア經驗ヲ致シテ居リマスル次第デアリマシテ、將來此ノ會社ノ前途ノ方針ニ付キマシテモ、餘程御考ニ一ツナルヤウニ私ハ希望致シマス、是ハ私ノ希望デアリマシテ、御答辯ノ必要ハアリマセス、其ノ次ニ昨年物動計畫カ若シクハ何カニ於キマシテ、外國船ヲ輸入スルトカ、若シクハ鋼材ヲ輸入スルトカ云フコトデ、四千五百萬圓カ豫算ニ組ンデアツタト云フコトハ、是ハ皆サン御承知ノ問題デアリマスガ、其ノ後輸入船ハドウ云フ風ニナリマシタデゴザイマセウカ、又其ノ輸入ノ豫定デアツタ鋼材ハ、果シテ豫定通りニ輸入ガ出來タノデアリマセウカ、ソレハ如何ナッタノデアリマセウカ、其ノ點ニ付キマシテハ遞信省ハ十分御承知ノコトニ思ヒマスノデ、御差支ナイ限度ニ於キマシテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、

○政府委員(小關將玄君) 速記ヲ止メテ下
○委員長(子爵松平忠壽君) 速記中止
○委員長(子爵松平忠壽君) 速記中止
○委員長(子爵松平忠壽君) 速記ヲ始メテ
對滿事務局ノ政府委員ガ見エマシタカラ御質問ヲ願ヒマス
○山川端夫君 先程來朝鮮當局ニ對シテモ御伺ヒ致シマシタ、此ノ問題ハ大分衆議院デモ繰返サレタ問題デアリマスカラ、細カイコトハ申上ゲマセス、餘リ繰返スコトラ避ケマスガ、關東州所屬ノ船舶デ支那ニ航行スルモノガ大分アル、此ノ法律ニ依ッテ統合セラル、船舶ト同ジ航路ヲ取ッテ居ルモノモアルヤウデアリマス、ソレデソレ何故同ジヤウニ此ノ法律ニ依ッテ一統ニサレナイカ、特別ニソレヲ除外セラレル理由ハドウ云フ所ニアリマスカト云フ點ト、ソレカラ將來飽ク迄モ現在ノ狀態ヲ御續ケニナル御考デアアルカドウカ、サウ云フ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス
○政府委員(荒川昌三君) 只今山川サンノ御尋ノ第一點、東亞海運ノ航路ト具體的ニ申シマスルト、大連汽船ノ今日持ッテ居リマスル、即チ大連カラ上海迄ノ航路、大連、天津ノ航路、此ノ二ツガ部分的ニハ並行ヲシテ居ルノデ、大連汽船ノソレ等ノ航路ヲ東亞海運ノ方ニ併合シタラドウデアラウカ、即チ大連汽船ガ其ノ航路ヲ今日デモ持ッテ居ラナケレバナライ理由ハドウカト云フヤウナ御尋ニ拜承シタ譯デアリマス、大連汽船ノ今日ノ立場ハ御承知ノ通り滿鐵ガ全額ノ資本ヲ持ッテ居リマシテ、名前ハ大連汽船デアリマシテモ滿鐵ノ海運部デアリマス、從ヒマシテ滿洲ノ側カラ見マスルト、今日滿鐵ガ御承知ノヤウニ、滿洲ノ國有鐵

道ノ委任經營迄致シテ居リマシテ、サウシテ全面的ニ滿洲國內ノ陸運ヲヤッテ居ル、而シテ沿革的ニ見マシテモ大連カラ物ヲ出シマシタリ、或ハ物ヲ入レタリスル場合ニ、日本内地、上海方面ニ海ガ繋ガッテ居ル、言葉ヲ換ヘテ申シマスルト、關滿一體ノ經濟的見地カラ、海陸共ニ其ノ經營ヲ一元化シテ居ッタ方ガ都合宜シイ、ソレカラ最近ノ情勢ニ鑑ミマスルト、御承知ノヤウニ印度洋ガ塞ガリマシタノデ、歐亞連絡ハ「シベリヤ」經由デ殆ド總テノ貨物ガ往復ヲシテ居ル、ソコデ未ダニ大連ヲ經由シマシテ上海迄、或ハ東京迄、大阪迄ト云フ一ツノ「ルート」ガ一貫シテアル譯デアリマス、ソコデ滿洲ト致シマシテハ、一ツニハ自分ノ國ノ經濟政策ト申シマスルカ、貨物ニ對スル諸掛リ運賃ナドガ非常ナ重大ナル要素ヲ持ッテ居リマスノデ、之ヲ一元的ニ取扱ヒタイ、而モ尙且歐亞連絡ノ重大使命カラシマシテ、平素ハ勿論ノコト、斯ウ云フ風ナ緊急狀態ノ時代ニ於キマシテハ、尙更今日ニ於テハ此ノ大連汽船ト云フモノヲ、海上ノ方ノ運送部トシテ、滿鐵ノ別働隊トシテ持ッテ居リタイト云フコトデアリマス、ソコデ東亞海運ノ此ノ會社ノ出來マシタ因縁カラ考ヘマスルト、是ハ遞信御當局カラ御説明モアツカト思ヒマスルガ、元々揚子江ヲ中心ニ支那沿岸貿易ノ外國ノ今迄持ッテ居リマシタ勢力ヲ驅逐シテ、一ツノ統合的ノ海運ヲシヨウ、從ッテ競合ヲスル問題ハ、ドウシテモ上海カラ北ノ方、即チ上海カラ大連迄、或ハ青島、天津ト云フ所迄延ビルカドウカト云フ問題ニナルノデアリマスルガ、先程申シマシタヤウナ狀態、ソレカラモウ一ツハ東亞海運ガ差當リハ支那ニ於ケル外國ノ航權

此ノ使命ハ大連汽船トシテ達シタ譯デアリマス、東亞海運ノ使命ガ今日ハソコニアルト致シマス、又ソレヲ、此ノ航路ヲ統一シテヤツテ戴クト云フ風ニハ滿洲側トシテハ考ヘテ居ラナイ譯デアリマス、遞信省ノ御考モ今日ハサウデアルト拜察シテ居リマスガ、更ニ第二ノソレデハ將來ハドウカト云フ御尋デアリマスガ、此ノ問題ハ又將來ハ非常ニ廣イ問題デアリマシテ、私ハ要スルニ此ノ日滿支ノ一貫的ノ交通政策ト云フモノガ樹立セラレナケレバナラスト思ヒマス、ト同時ニ、此ノ滿洲ト日本トノ關係、又滿洲ト北支トノ關係、又廣ク考ヘマサルト、歐亞連絡一貫ノ問題トシテ上海ト大連トガドウ云フ風ナ狀態ニナルカ、今日デハ非常ニ荷物ガ輻湊シテ居リマス、極ク卑近ナ言葉ヲ申シマス、大連汽船ハ非常ニ儲カツテ居ル譯デアリマス、數年前ハ可ナリ不況ニアリ、サウシテ随分苦シンデ居リマシタケレドモ、最近デハ順調ニ會社ノ經營ガ行ツテ居ル譯デアリマス、而シテ尙其ノ航路ヲ充實スル爲ニ、近ク七千五百「トン」ノ優秀船ヲ一隻、上海ト大連トノ間ニ配船ヲ致シマスル爲ニ、昨年ノ暮ニ建造計畫ヲ立テタノデアリマス、今日デハ確カ三隻アソコニ往復シテ居リマスケレドモ、將來ハ五艘ニ致シマシテ、結局隔日、即チ一日置キデアリマス、一日置キニ上海ト大連トノ間ヲ往復サセルト云フ計畫ヲ立デテ居リマス、從ツテ將來ハ勿論東亞海運ト大連ト、其ノ外又朝鮮

○山川端夫君　只今政府委員ノ御説明デハアリマスガ此ノ問題ハ實ハ閣議決定デ統一スルト云フコトハ方針ガ決ツテ居ルト云フコトヲ伺ツテ居リマス、問題ハ詰リ滿洲ト云フ所ヲ主ニシテ見ルカ、或ハ此ノ法律ニ依ツテ見ルヤウニ日滿支……法律ノ御趣意ハ何レサウダラウト思ヒマスガ、日滿支一體トシテ全面的ニ此ノ交通ノ關係ヲ統制シテヤツテ行クト云フ其ノ問題ニナルノデハナイカ、今伺ツタ所デハ滿洲ノ事態ヲ主ニシテ、滿洲カラノミノ必要ヲ今御話ニナツタヤウニ考ヘルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ法律ガ出來テ、日本ト支那、支那各港、支那ト或ハ第三國、斯ウ云フヤウナ航路ヲ統制シテ、全面的ニ調節シテ行クト云フ政策ヲ採ラレタ今日ニ於テハ、朝鮮ノモノモ關東州ノモノモ之ニ統一サレテ、サウシテ今御話ノヤウニ滿洲ノ特殊ノ利益ヲ擁護スル措置ヲ執ルト云フコトハ、是ハ出來得ルノデハナイカト思フ、關東州ニ籍ヲ置イデ居ル船ノ問題ニ付テハ、全般的ニ申シマス、是ハ餘程色々ナ問題ガ起ツテ來ル、今迄モ可ナリ弊害ガアツタ、此ノ問題ノ解決ニ大分色々議論ガアツタコトモ承知シテ居リマス、今日全面的ニ統制シテヤルト云フコトハ、個々ノ利害、個々ノ問題ハ無論其ノ中ニ於テ考ヘルケレドモ、同時ニ全面的ノ利害ヲ主ニシテ進メルト云フコトガ一番ノ主タル目的デヤナイカト思フ、局地的ニ申シマス、色々ノ利害關係ガアリマセウ、既

○政府委員(荒川三三君) 先程申上ゲマシ
タヤウニ、大連汽船ノ航路ヲ東亞海運ニ統
一スルノハ、今日ノ現狀ニ於キマシテ、至ッ
テ困難デアルト云フコトハ、申上ゲタ通り
デアリマス、明年或ハ明後年之ヲドウスル
カト云フ問題ニ付キマシテハ、私個人デ此
處デ申上ガル譯ニモ參リマセヌノデ、唯大
體ノ氣持ト致シマシテ、滿洲國側ノ……滿
洲國側ト申シマシテモ滿洲國ダケノ問題デ
ハアリマセヌデ、滿鐵、關東軍、關東局等
大連汽船ノ航路ニ付キマシテ、利害關係ヲ
持ッテ居リマスル當局ガアチラニアル譯デ
アリマスカラ、ソレ等トモヨク協調ヲ保チ
マシテ、善處致シタイト思ッテ居リマス、唯
御斷リヲシテ置キマスルコトハ、私共船ノ
問題ニ付キマシテハ、絕エズ内地ノ遞信省
ト協調ヲ保ッテ居リマス、無論滿洲ノ荷物が

○山川端夫君　段々御話ヲ承リマシタガ、私
ノ考フ、承ツタ所カラ率直ニ申上ゲマス、是
ハ滿鐵會社が出資シタ、滿鐵ノモノダカラ
手放サナイト云フヤウナ感じガ大分アルノ
デハナイカト斯ウ思ハレルノデアリマス、
今御話ノヤウニ上海、青島、大連ノ航路ヲ
世界的ニ大イニ活用スルト云フヤウナコト
ガアリマスケレドモ、是ニモ矢張り他ノ競
合線ヲ併合シテモ或ル程度迄ハアルヤウニ
見受ケラレル、今御話ノヤウニ必ズシモ大連
汽船バカリデ動クノデハナイ、サウ云フ状態
ノ下ニ於テ今日事務上ノ打合セハ十分連絡
ヲ執、テオヤリニナリマセウガ、斯ウ云フ決
案ヲ作ツタ趣意カラ言ヒマス、矢張りアツ
サリト此ノ會社ニ入レテオヤリニナツデモ、
實際ノ仕事ハ支障ガアルトハ見受ケラレナ

イ、單ニ自分ガ持ッテ居ルモノダカラ、今他ニ渡スコトガ出來ナイト云フヤウナ感ジガ強ク響クヤウニ私ニハ聞エル、尙關東州ノ船舶ニ付テモ、一般ノ問題ニ付テモ、私色々、先程モチヨット午前中ニ遞信大臣ニ伺ヒ、考ヲ持ッテ居リマスケレドモ、是ハ一般ノ問題デ、之ニハ觸レマセヌケレドモ、ドウカ斯ウ云フヤウナモノハ、成ルベク早ク此ノ會社ト一緒ニ仕事ヲサレテ行クト云フコトガ、統制ト云フ上カラ言ッテモ非常ニ必要デハナイカト、斯ウ考ヘラレルノデアリマス、今ノ御話デハ、將來モナカク一緒ニナル機會ハ遠イヤウナコトデアリマスルガ、是ハ先程朝鮮ノ政府委員モ御話ニナリマシタガ、大分面倒ナ問題ニナリハシナイカ、困難ナ問題ニナリハシナイカトモ實ハ考ヘテ居ル、ソレデドウカモウ少シ其ノ點ヲ政府ノ方デモ考慮サレルコトヲ希望スルノデアリマス、ソレニ付テノ御意見ヲ承ルコトガ出來レバ御意見ヲ承リタイト思フ

○政府委員(荒川昌二君) 只今、ザックバラシニ言フト滿鐵が大連汽船ヲ持ッテ居ルカラ手放サナイノデハナイカト云フヤウナ御趣旨ガゴザイマシタガ、私ハサウハ見テ居リマセヌ、御承知ノヤウニ上海航路ノ開設致シマシタノハ滿鐵デアリマス、ソレガ日露戰爭後ノ明治四十一年デアリマスガ、滿鐵ガ詰リ鐵道カラ伸ビテ船ヲ持ッテ、サウシテ上海航路ヲ開設シ、其ノ後御承知ノヤウニ上海ニモ滿鐵ガ埠頭ヲ持ッテ居リマシテ、最近迄滿鐵所有ノ埠頭ガアッタ譯デアリマス、所ガ滿鐵モ段々御承知ノ通り分化致シマシテ、鐵道ニ專念スル、從ッテ此ノ上海ニ持ッテ居リマス埠頭モ大連汽船

ニ昨年ノ募讓リ渡シタノデアリマス、從ッテ船ハ船、大連汽船ノ株ハ全株持ッテ居ルケレドモ、餅ハ餅屋デヤラシタガ宜カラウト云フ考デ段々ニ分化サレテ居ル譯デアリマス、サウシテ大連汽船ヲ非常ニ回顧シナケレバナラス時代ト云フノハ今日ハ過ギテ居ル、ソコデ大連汽船ハ何故ソレデハ上海航路ヲ持ッテ居ルカト云フ問題ハ、沿革的ニ申シマスト、滿鐵ガ開設ヲシタモノデアリマスケレドモ、今日ハ大連汽船ノ上海航路ト云フコトヨリ、寧ろ滿洲國經濟全體ノ見地カラ見テ大連汽船ト云フ關東州ノ大連ニ籍ヲ置ク汽船會社ガ上海航路ヲ持ッテ居ル方ガ都合ガ宜イカドウカト云フ問題ニナッテ來ル譯デアリマス、從ッテ先程申上ゲマシタヤウニ、滿鐵ノ運賃ト云フモノモ此ノ頃ノ運賃デハ非常ニ低イ爲、最近デハ多少運賃ノ値上ヲ致シマシタ、併シ大連汽船ノ方ノ運賃ニ付キマシテハ、是ハ相當業績モ宜クナッテ居ルノデアルカラト云フノデ、旅客ニ付テハ昭和十年、ソレカラ貨物ニ付キマシテハ昭和十三年以來据置イテ居ル、從ッテ運賃ヲ押ヘテ居ル、アレヤ是ヤガ、總テ所謂滿洲國カラ見マシテ一ツノ大キナ經濟政策ノ一環トシテ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソコデ私ハ客觀情勢ガ變レバ別ダト云フコトヲ申上ゲマシタガ、其ノ客觀情勢ト云フノハ滿洲國ノ客觀情勢ト云フ意味デハナクテ、所謂東亞全體ノ客觀情勢ト云フ意味デアリマス、從ッテ今大連汽船ノヤッテ居リマス、大連ト上海ノ貨物ノ狀態トカ、或ハ東亞海運ノ成長ノ狀態トカ、又天津ト大連トノ貨物、或ハ苦力ノ輸送ノ狀況、サウ云フモノノ總テヲ含マレタ意味ノ客觀情勢大所高所カラ見タ客觀情勢ガ多少變ッテ來レバ勿論將來考

ヘラレルヤウナ問題デアリマシテ、今日デハ矢張り現狀ガ是ハ日本カラ考ヘマシテモ、ソレカラ北支カラ考ヘマシテモ、滿洲カラ考ヘマシテモ、現狀ノ方ガ宜イノデハナイカト云フヤウナ感ジヲ持ッテ居ル譯デアリマス、ソレデ私ハ最初ハ滿洲側ノ考ヘ方ヲ申上ゲマシタ爲ニ、如何ニモ現地至上主義ノヤウニ御受取りニナッタカト思ヒマス、私ハ全體ノ氣持ヲ考ヘテ、サウ云フ風ニナッテ居ルト云フコトヲ申シマシタ、左様御了承願ヒタイト思ヒマス

○委員長(子爵松平忠壽君) ソレデハ明日ハ午前十時カラ開會致シマス、本日ハ是デ散會致シマス
午後二時五十分散會
出席者左ノ如シ
委員 子爵松平 忠壽君
副委員長 男爵松田 正之君
委員 公爵一條 實孝君
伯爵山本 清君
子爵仙石 久英君
坂西利八郎君
山川 端夫君
大橋 八郎君
男爵井上 清純君
男爵中御門經民君
古島 一雄君
板谷 宮吉君
橋本辰二郎君
岩田 宙造君
國務大臣 遞信大臣 村田 省藏君
政府委員 對滿事務局次長 荒川 昌二君
遞信次官 山田 龍雄君
遞信省管船局長 尾關 將玄君
海運監理官 松永 忠勇君
同 米田富士雄君
朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

○山川端夫君 此ノ以上申上ゲマシテモ、意見ノ交換トナルト思ヒマスガ、マダ十分了解ガ出來ナイ點ガアルノデアリマス、滿鐵ガ上海航路ヲ開拓シテ立派ナ仕事ニサレタト云フ、アノ仕事ニハ大イニ私モ敬意ヲ表シテ居リマス、併シ今日ニナッテ見ルト、滿洲ノ關係、色々ナ關係ヲ御話ニナリマシタケレドモ、此ノ汽船會社ハ關東州ニ籍ヲ置イタ船ダケデテノコトヲヤッテ居ルノデナイ、矢張り日本ノ他ノ船舶、定期船、不定期船、サウ云フモノガ片一方ニハ非常ニ大キナ仕事ヲ事實ヤッテ居ルノデアリマス、又此ノ法律ガ出來マスト、此ノ法律ニ規定セラレタ船モ同ジヤウニヤルガラウト思ヒマス、サウシマス、必ズシモ關東州ニ特殊ノ船舶ヲ留保シナクテモ、全般的ニ同ジ目的、或ハソレ以上ノ目的ヲ達スルト思ヒマス、ソレガ此ノ法律ヲ統制スルト云フ趣意ニ適フ所以デアルト思ヒマス、サウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居リマス、大體政府ノ考ヘテ居ラレル點ハ既ニ明瞭ニナッテ居リマスカラ、此ノ上繰返シテハ申シマセヌ、私ハ是デ止メマス

○委員長(子爵松平忠壽君) 皆サンニ御諮